



校長 藤山 昌生



2023年、新しい年を迎えました。本年も引き続きどうぞよろしくお願いたします。今日から1年のまとめの学期、3学期がスタートします。年末年始には、「コロナ前のような人出に戻りつつある」という報道を耳にすることが多くありました。冬休みには多くの方がそれを体感されたと思います。このまま以前のような生活に戻ることを期待していますが、学校では引き続き感染対策をしっかりと講じながら、教育活動をすすめていきたいと思っています。

さて、今年は卯年です。うさぎはその穏やかな性格から、以前は学校でも多く飼育されていきましたので、私たちにとってはとても身近な動物でもあります。また、うさぎの跳ねる姿から、「飛躍する」、「向上する」というイメージがあり、新しいことに挑戦するのによい年とも言われています。年のはじめの始業式でも子どもたちに「チャレンジすること」の話をしました。でも、何かにチャレンジしたいという気持ちを持つことは、いつでもいいと思います。今の、その気持ちを何かに書いて「目標」にしてほしいと思います。目標は、本当に目の前の近いところにある目標であったり、もっと先の将来にある目標であったり、人それぞれ違うと思います。また、目標というのは、ゴールであったり、通過点であったり、こうなればいいなというイメージであったりする「目指す先」にあるものなので、ないよりはあったほうが分かりやすいですし、日々変化していくものでもあると思います。箱根駅伝では、10の区間それぞれの走者が目標を持ち、それをつなぎ合わせて大きなゴールを目指していました。学校では友だちと、家庭では家族で目標に向かって努力していけるといいですね。

1月17日、阪神・淡路大震災から28年になります。28年という長い年月が過ぎましたが、忘れることはできませんし、決して忘れてはならないという気持ちがあります。学校は避難所となり、子どもたちの学習の場に多くの人々の毎日の生活がありました。その時の避難者の状況を思い出すと、今のコロナ禍においては、その時以上の大変さも予想されます。

1月17日には、昨年、一昨年と実施できなかった「合同防災訓練」を、地域や関係機関のみなさまと一緒に実施する予定です。災害に対しての日々の備えはもちろんのこと、苦しい時であるからこそみんなで助け合うことの大切さや、自分たちができることを積み重ねていくことを確認する訓練にしていきたいと思っています。